

SWEDEN X JAPAN 響きあうココロ。

好きな理由。

スウェーデンを

ウスが

自然への深い造詣と愛着、 れが1つのスウェーデンらしさ

The SWEDEN HOUSE
THE PERFORMANCE FOR OUR PLANET



CONTENTS

[Special] To The Future つづいていく。

[Owner's Story] 楽しみを引き継ぐ。 BATON of JOY

14

[Technology] スウェディちゃんの なぜ?なに?どうして?

教えてムース先生!

18

[Culture] 私の小宇宙Sweden

19

グリーンと暮らせば Owner Gardener's Life

20

[Report] そして夢は叶った

SWEDEN HILLS DREAM

22

[Life Style]
The moment of mjuk!

24

[OWNER'S CIRCLE] Good Neighbors

26

[SWEDEN HOUSE CIRCLE] Good Neighbors

企画・発行:スウェーデンハウス (株) 発行人:岡田 正人

編集人:大竹 愛子 プロデュース: (株) DGコミュニケーションズ

表紙写真: Per Pixel Petersson/imagebank.sweden.se



SWEDEN × JAPAN 響きあうココロ。

To The Future

づいていく。

といい、木という生き物を相手にした「手作業」ない、木という生き物を相手にした「手作業」した品質の窓や壁パネルが生産されていきもす。 そして「自動化ライン」によって、安したの皆様に快適に暮らしていただくこと。

互いを理解しあうことから生まれた新しいのよう一方だけでは決してつくることができない、価値。それは、スウェーデンと日本のどちら

通点を理解するために、「製造現場で働く社員

の気候風土や文化、価値観の違い、または共

は品質という言葉ひとつにも、数値で表せる

返し、互いに理解を深めてきました。例え

時代を超えて

昨今、日本でもスウェーデンのライフスタイルに関心が高まってきていますが、それは、これから私たちがどのように暮らし、どのように家族

自分が自分らしく、自由な思考でやりたいことを思い切りできる状態…それを「心地いい」ととるます。時代や環境とともに変わりゆく多様支えます。時代や環境とともに変わりゆく多様支えます。時代や環境とともに変わりゆく多様でライフスタイルに応えます。木の香り、肌触り、にお気に入りの暮らしを重ねてください。そして、にお気に入りの暮らしを重ねてください。そして、退しつづけていただきたいです。

年を記念する2018年、弊誌では一年を通して「SWEDEN×JAPAN響きあうココロ。」と題してスウエーデンの様々な魅力をご紹介してと題した。新たな発見、ご紹介しきれなかったこともありました。

フスタイルに寄り添い続けてまいります。続け、皆様のこれからのお住まい、望まれるラーが追い求めた真の豊かさ、本物の価値を探ーが追い求めた真の豊かさ、本物の価値を探

SWEDEN × JAPAN 響きあうココロ。 To The Future
つづいていく。